

分野		科目名		配当年次		開講期	
専門分野		看護過程演習		1 年次		後期	
単位数		時間		担当教員		実務経験の有無	
1 単位 (15 時間)		16 時間		石丸 綾佳		有	
授業 の 概要		紙上事例を通し、KOMI ケア理論に基づく目的論・対象論・方法論を踏まえ、個別性に合わせた回復のメカニズムを支える看護を導き出すための思考過程を体験する講義である。					
到達 目標		1. KOMI ケア理論に基づく思考過程で、紙上事例の看護過程の展開方法が理解できる。 2. KOMI チャートシステムを使用し、事例の看護を考えることができる。					
授業 計画		No.	授業内容	授業方法		備考	
		1 2	情報の整理	情報収集をし、基本情報や生命過程・生活過程の情報を整理しよう。 薬品情報シート・検査情報シートの内容を確認しよう。		個人ワーク グループワーク	
		3 4	アセスメント 課題の明確化	生命の消耗に繋がる事柄と持てる力、健康な力は何か、情報の分析（現状、要因、なりゆき）を考え、解決すべき課題を明らかにしよう。		個人ワーク グループワーク	
		5	全体像の アセスメント	本人の目標（ゴール）を踏まえて、全体像をアセスメントし、ケアの方向性を導き出そう。		個人ワーク グループワーク	
		6 7	看護計画立案	ケアの方向性に沿った生活の処方箋を描いてみよう。		個人ワーク グループワーク	
		8	まとめ	ケアの結果・評価・サマリーについて考えよう。		講義	
評価		看護過程の内容：40 点 最終レポート：60 点					
参考 文献		1) 金井 一薫：実践を創る 新看護学原論. 第1版. 現代社. 2012. 2) 金井 一薫：実践を創る 新 KOMI チャートシステム. 第1版. 現代社. 2013. 3) 石川ふみよ：看護過程の解体新書. 学研. 2015. 4) 古橋洋子：はじめて学ぶ看護過程. 医学書院. 2017.					
備考		・運動器疾患患者の事例で演習を行います。 ・事前・事後の課題があります。その都度提出も指示します。個人で必ず取り組んでから授業に参加してください。					